

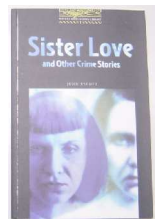
多読クラブ会員様へ

書籍追加のお知らせ（2008年5月）

OBW（オックスフォード）のレベル1に2冊追加

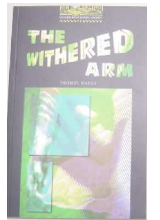
●Sister Love and other crime stories 2.0 4000

犯罪もの短編が3つ収録されています。OBW1には短編集はこれしかないのです、初めてのOBW1挑戦には最適かもしれません。性悪な妹をもつ姉の話、運があると思っている小悪人の話、自動車のあたり屋をしている女性の話の3話です。



●The Withered Arm 2.0 5900

Rhoda Brookは結婚していないが、農場主のLodge氏との間に息子がいます。そのLodge氏が、自分より若くてキレイで可愛らしいGertrudeと結婚してしまいます。嫉妬の念に駆られたのでしょうか、ある日妙にリアルな夫人の夢を見ます。数日後、夫人と話す機会があった時、夢であった事が夫人にも起きています。腕に、人に掴まれたようなあざが残っているのです。これが元となり、夫人の人生に暗い影を落としていく事になります。



PGR（ペンギン）のレベル4に5冊追加

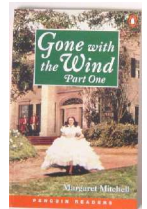
●1984 4.0 21300

1949年にかかれた風刺小説です。政府がすべてを監視し支配する社会になってしまったLondonに住むWinston Smithは禁じられた愛におち、反政府活動に参加しようとするが。。重苦しく読後感がすっきりしない話ですが、あちこちの街角に防犯カメラがとりつけられている21世紀の日本社会も決してOrwellの警告する社会と無縁ではありえません。



●Gone with the Wind Part 1 4.0 14000

ご存知、マーガレット・ミッチェル原作の不朽の名作。アメリカ南部の大農園に生れ、輝く美貌と激しい気性を併せ持ったスカーレット・オハラは、ひそかに憧れていたアシュレが、いとこのメラニーと結婚することを知った。スカーレットは、何とかアシュレを自分に振り向かそうとするがうまくいかず、つらあてにメラニーの兄チャールズの妻となる。そんなスカーレットを密かに見つめる謎の男レット・バトラー。折りしも南北戦争が勃発し、スカーレットの波瀾の人生が幕をあける。



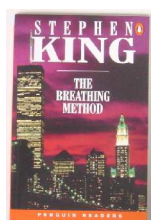
●Gone with the Wind Part 2 4.0 15000

南北戦争は終わりを告げたが、スカーレットは夫のチャールズを始め多くの友人を失う。故郷のタラで、彼女は無一文から生活を組み立てなければならなかった。新しく課された税金を払えなければタラの農場を取り上げられる...彼女の気丈な性格に火がつき、逞しくも自らの路を切り開いていく。その過程で、未だ消せぬアシュレへの想いを胸にしつつも、危険な男レット・バトラーに徐々に近づいていくスカーレット。遠い昔に映画を見て、適度にディテイルを忘れていた方には最適でしょう。



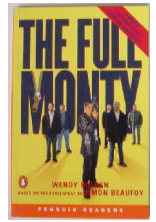
●The Breathing Method 4.0 13000

ニューヨークに、ある奇妙な会員制のクラブがあった。そこでは集まった会員達がお互いに不思議な話を披露し合っていた..ある年のクリスマス前の木曜日に、ある医者が披露した話は、出産を控えた若い女性の話だった。一体彼女にどんな恐ろしい出来事が待ち受けているのだろうか...."Breathing Method"とは、今で言うラマーズ法のこと、さすがにホラーの大御所、うまく題材に取り入れ、一気に思いもよらぬ恐怖のラストへ突入していきます。



●The Full Monty 4.0 18000

Gaz 達が働いていた製鉄所は企業競争のため閉鎖され、3年前に工場を辞めた。妻は Gaz を見放し、家を出て行った。息子の Nathan の養育費が払えず、裁判所から Nathan に会うことも禁じられる寸前だ。窮地に追い込まれ、Gaz はお金を稼ぐためにグループを作って男性のストリップをすることを決める。メンバーを集め、ストリップで稼ぐことができるか。Gaz は前向きに進みます。



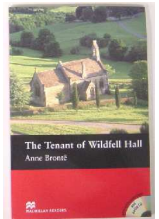
MGR (マクミラン) のレベル4に2冊追加、どちらも読み上げCD付です。

●Casino Royale 3.5 12900

007/カジノロワイヤルのGR版です。

●The Tenant of Wildfell Hall 3.7 2200

作家アン・ブロンテによる「ワイルドフェル・ホールの住人」のGR版。朗読の速度が遅すぎず、速すぎず明瞭で聞きやすい。



●What's New Today? (CDブック) KL:2.0 (聞きやすさレベル)

多聴におすすめ。NHKのラジオ英会話をたしか11年間担当されていた、あの大杉先生とネイティブスピーカーの生トークを51編収録。身近な話題が中心です。読む前に、まず一通り聞いてみましょう。聞き取れなかったところは本で確認。リスニング&スピーキング力が楽しみながら身につく、かも。



●What's Up? 2008-9 Intermediate YL:2.8 総語数:5000

●What's Up? 2008-9 Elementary YL:2.5 総語数:3200

ももとは高校生向けの副読本ですので、高校生くらいの年代の若者が興味を持つような話題が中心です。一部の単語は意味が書いてあったりします。読み上げCD付き。



お知らせ：現在、土曜の多読会は午前10時～午後5時となっておりますが、7月より、午後3時～午後5時とさせていただきます。貸し出しの営業はその後、引き続き午後8時までの予定です。時間帯についてご要望がありましたらお聞かせください。

編集後記：「多読・多聴」による英語習得法がメディアに取り上げられるなどして、裾野の広がりを感じます。また、朗読CDがGRにセットされるようになるなど、音源の入手も容易になってきました。読み上げ音声を聞きながら同時に本を読むことを「聞き読み」とか「LR」と呼んでいますが、その効果について、ある方の体験談を紹介したいと思います。以下引用。-----

音がないと、知らない単語は、そこで、なんて読むのかな～なんてつかかっていたのですが、**発音**が分かるから**つかからずに読める**。ある程度の速さでどんどん進んでいくので、**日本語に訳する間が無く進んでいくので、訳す癖がなくなる**。わからないところは否応なしに読み飛ばしてくれるので、読み飛ばしができないという人もついて行けば、**読み飛ばしができるようになる**。最初はゆっくりなものを聴いていたのですが、少しスピードを速いものにあげていったら、**だんだん追いつけるようになり、音が無くても読む速さが速くなった**。そして、ハリー・ポッターの英国版の音源を聴いていたら、**知らない形容詞が、読み方によって、だいたいの意味が分かった**し、物語が立体的に感じられるようになりました。-----以上。「聞き読み」にはいろんな効果があり、シャドーイングやオーバーラッピングの練習も入れれば、より会話力アップにつながるでしょう。もちろん、やりたくない人は無理にやる必要はありません。